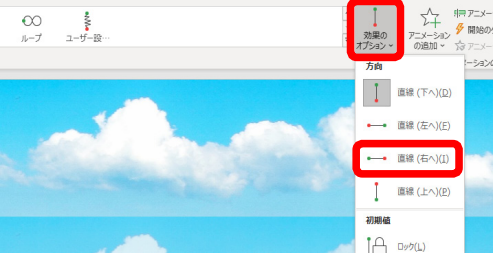
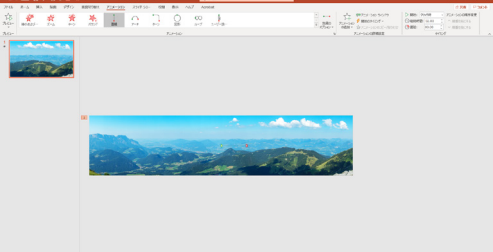


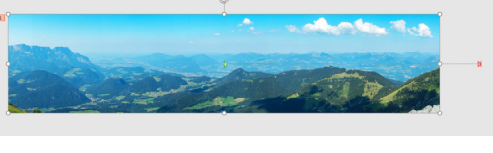

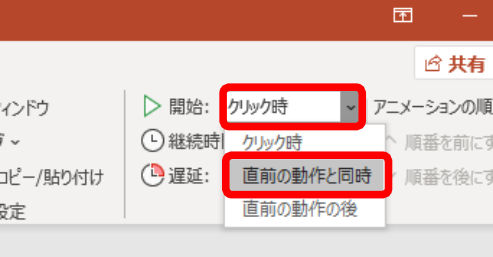



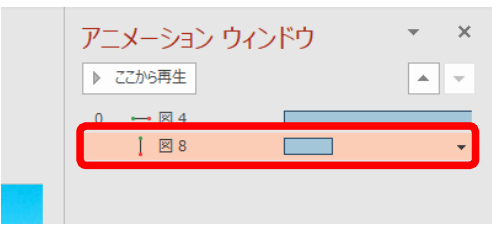
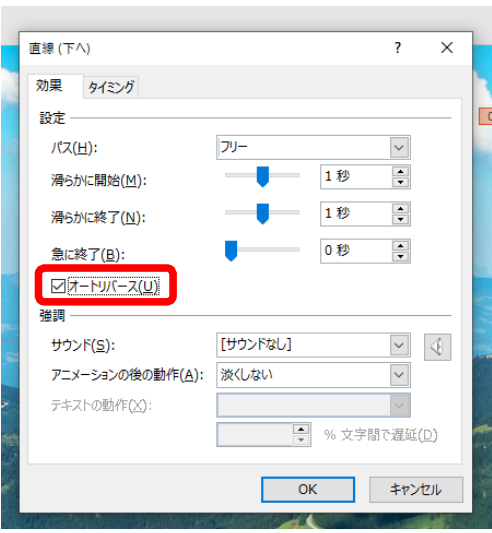
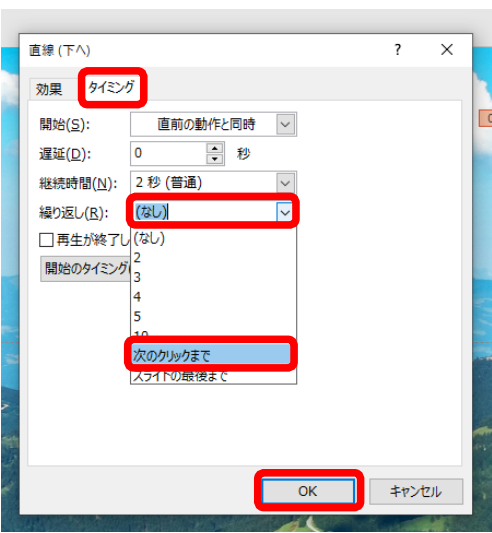

ドリー

このマニュアルは PowerPoint Office 365 バージョン 1910 で書かれています

<p>1</p>		<p>「レイアウト」→「白紙」を選択。</p>
<p>2</p>		<p>インターネットで「パノラマ」と検索すると、パノラマ写真が出てきます。 コピーして貼り付け。</p>
<p>3</p>		<p>スライドの高さにぴったり合うように、サイズを調整します。 写真の右端とスライドの右端がぴったり合うようにします。</p>
<p>4</p>		<p>「アニメーション」→「アニメーションの追加」から「アニメーションの軌跡」の「直線」をクリック。</p>

5		<p>「効果のオプション」 → 「直線 (右へ)」。</p>
6		<p>「Ctrl」キーを押しながら、マウスのホイールを回して、スライドを縮小します。</p>
7		<p>写真をスライドの右端にぴったりくっつけたまま、スライドの上部に少し余白ができるように下へ移動させます。</p>
8		<p>アニメーションの始点▶か終点⏹をクリック。 アニメーションの終点が●になるので、「Shift」キーを押しながら、右に引っ張ります。 このとき写真が動くので大体スライド画面の左端に接するぐらいに動かしてください。 ※「Shift」キーを押すのは、線が斜めにならないようにするためです。</p>
9		<p>写真をスライドの右端にぴったりくっつけたまま、スライドの上部に余白ができないように上へ戻します。</p>
10		<p>「F5」キーを押してスライドショーを見てみましょう。 クリックすると、背景が右に向かって真っすぐ移動していけばOKです。</p>
11		<p>「開始」を「直前の動作と同時」にします。 これで、クリックしなくてもアニメーションが動きます。</p>

12		<p>「継続時間」に「20」と入力します。 これで、アニメーションが20秒間かけて行われるのでゆっくりになります。</p>
13		<p>「挿入」→「画像」で、飛ばしたいものを挿入し、適当なサイズ・位置にします。 スライドの中心がわかりづらい場合は、先ほどのように写真を下にずらすか、左側のスライドのサムネイルを参考にしましょう。 また、「Ctrl」キー+マウスのホイールで作業しやすい画面サイズにしましょう。</p>
14		<p>「アニメーション」→「アニメーションの追加」から「アニメーションの軌跡」の「直線」をクリック。</p>
15		<p>アニメーションの始点  か終点  をクリック。 アニメーションの終点が  になるので、「Shift」キーを押しながら、上に引っ張り、移動の範囲を少なくします。</p>
16		<p>「開始」を「直前の動作と同時」にします。</p>

17		<p>「アニメーション ウィンドウ」をクリック。 右側に「アニメーション ウィンドウ」が開きます。</p>
18		<p>「アニメーション ウィンドウ」の上から2番目の項目をダブルクリック。</p>
19		<p>「オートリバース」にチェック。</p>
20		<p>「タイミング」タブをクリック。 「繰り返し」を「次のクリックまで」にして「OK」。</p>
21		<p>これで完成です。 「F5」キーを押して、スライドショーを見てみましょう。</p>